地域に「夢」を発信

釜石東中3年生　総合学習で将来像さぐる　希望を生きる力に

玄田教授を招き報告会

「私の夢・地域の夢」をテーマに総合学習に取り組んでいる釜石市立釜石東中学校（伊藤一志校長、生徒235人）の3年生82人が23日、地域で活躍している人々を対象に行った取材調査の報告会を開いた。釜石で「希望学」の調査を進めている東京大学社会科学研究所の玄田有史教授も参加し、「夢が地域を変える」などと熱いメッセージを送った。

「夢」をキーワードに掲げた釜石東中の総合学習報告会

同校の3年生は、1年生のときに「でんでっこ（津波）」、2年生のときには「アイアンロード」のテーマで地域を調査する総合学習に取り組んだ。3年目の本年度はその集大成として、「夢」をキーワードに地域の未来や生徒それぞれの将来像を考える。

この14日には、3年生が20のグループに分かれ、さまざまな地域づくりやスポーツ・文化の振興などに夢や希望を持って活躍している人々を訪ねて聞き取り調査を実施。これを基に、昨年度から同校の総合学習に協力している玄田教授を招き、パネルディスカッション形式で報告会を開くことにした。

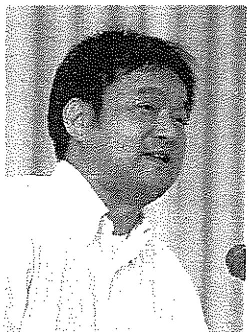
報告会では、5人のリーダーが代表して調査結果を報告。「一番大切なのは夢をあきらめないこと。自分も地域を愛する人になりたいと思った」「地域を愛する思いが伝わってきた。夢があるからこそ頑張ることができるのではないか」などと感想を述べ合った。

取材調査の協力者で、釜石市橋野町でミネラルウオーターの開発に取り組んでいる八幡登志男さんと鵜住居町で民宿を営む岩崎昭子さんも報告会に参加。八幡さんは「失敗を重ねて来たが、80歳になったこれからも夢を持ち続けたい」、岩崎さんは「人に喜ばれることが一番の幸せ。みなさんも地域の役に立つ人間になってほしい」などとメッセージを送った。

希望学の調査で2年前から10回以上も釜石を訪れている玄田教授は「釜石にはすごい人がいっぱいいる」とした上で、「地域を愛することが世界を愛することにつながる。失敗を恐れず挑戦する。釜石はそういう地域ではないか。みなさんも夢を追い続けてほしい」とコメントを寄せた。

3年生は今回の報告会を踏まえ、9月には再び20グループに分かれて職場体験を実施。この成果を「ドリーム・マップ」としてまとめ、11月の文化祭では寸劇や朗読、合唱などさまざまな形で発表。地域に「夢」を発信する。

夢は「ありがとう」から　玄田教授　キャリア教育で講演



「夢を大切に育てて」と呼びかける玄田有史教授

労働経済学が専門でニート問題研究の第一人者としても知られる玄田教授は、報告会に続き、釜石東中の全校生徒を対象に講演。「それぞれの夢を大切に育ててほしい」と呼びかけた。

玄田教授の講演会は、同校のキャリア教育の一環。「15歳からの仕事道」をテーマに掲げ「子どものころの夢をそのままかなえることは難しい。けれども、夢を育てる気持ちは大切」と強調した。

夢を実現するためのキーワードとして挙げたのは、「ありがとう」の言葉。"ありがたい"と思う気持ちが心の感覚を磨き、意識や価値観も変わる。『ありがとう』と言われる仕事をたくさんすることが、夢に近づくヒントになる。心の中にいっぱいアンテナを立て、気づくことが大事。夢に向かい『ありがとう』と言ってみよう」とアドバイスした。

「六ケ所村ラプソディー」　27日　釜石で3回上映

ドキュメンタリー映画「六ケ所村ラプソディー」釜石上映実行委員会（千葉尚子委員長）主催の「六ケ所村ラプソディー」上映会は27日、同市港町の釜石市港湾会館2階で開く。市教委や岩手東海新聞社など後援。上映時間は午前10時、午後2時、同6時の計3回。前売り券950円、当日券1100円。高校生以下は無料。入場者にはミニワカメと飲み物を配る。

「六ケ所村ラプソディー」は06年に公開された鎌仲ひとみ監督の長編ドキュメンタリー映画。04年、同村に原発で使った燃料からプルトニウムを取り出す再処理工場が完成した。稼働に向けて動き出した巨大な国家プロジェクトをめぐり、賛成や反対の村人が登場。推進も反対も核とともに生きることを余儀なくされている。それぞれの選択した生き方と並行して着々と進む再処理計画。カメラは事故を起こしたイギリスの再処理工場へ。40年の歴史が六ケ所村の未来を予感させる。多様な人々の思いが交錯し、私たち自身の選択を迫ってくる—という内容。これまで全国各地で上映会が行われ、今年3月には釜石市民交流センター（嬉石町）でも行われた。

千葉委員長は「工場が本格稼働すると、1日おきに原発の濃度制限値の2800倍のトリチウム（放射性物質）が放出される予定だという。近い将来、三陸の海が放射能に汚染されるかもしれないということを多くの市民らに知ってもらいたいと思って実行委員会を立ち上げた。映画を見てもらい、釜石市にもかかわることだということを理解してほしい」と話す。

問い合わせは千葉さん（電話24・2628）へ。

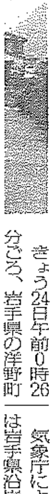
岩手ジュニアピアノコンクール　釜石で沿岸予選

第7回岩手ジュニアピアノコンクール（同実行委員会主催、ヤマハ仙台事業所協賛）沿岸地区予選が、8月3日午前10時から釜石市民文化会館中ホールで開かれる。

午前は初級A、同B、午後は中級A、同B、上級の各部門を実施。釜石市、宮古市、大槌町、山田町の幼児から高校生まで74人が出場し、各部門の金賞受賞者は9月7日に北上市で行われる本選に出場する。

入場は無料。問い合わせは東山堂釜石営業所（電話0193・23・0750）へ。

沿岸北部震源に　宮古〜釜石　震度5強　各地で落石、負傷者も



きょう24日午前0時26
分ごろ、岩手県の洋野町

気象庁によると、震源
は岩手県沿岸北部で、震

＝宮古市長沢、同市五月町、山田町八幡町、釜石市只越町ほか▽震度4＝宮古市鍬ケ崎ほか

気象庁は余震について「浅い震源の地震ほどは多く発生しないが、震度4程度の余震が発生する可能性はある」と注意を喚起した。また「地盤が緩んだ地域の降雨は、土砂災害の危険を高め

を強打、救急車で病院に搬送された。市立栗林小学校では高架水槽が破裂。小佐野町の小佐野コミュニティ会館では2、3階の部屋の内壁の一部が崩れた。市の保健福祉センターと教育センターではエレベーターが停止した。市内の18路線で落石があった。学校施設の被害確認も進めてい

JR釜石線と山田線、三陸鉄道南リアス線では、始発から上下線で運転を見合わせた。南リアス線は安全が確認できたとして、午前11時12分、運転を再開した。

同市大町のコンビニエンスストアの男性店員やホテル従業員は「地震直後は大きく揺れたが、物が少し崩れただけで大き

市、遠野市、岩泉町）の2658戸に及んだ。対応を急ぎ、午前6時39分までに、すべて復旧させた。また、設備の被害状況を調査しているが、電力供給に支障がある被害は確認されていない。

地震発生後、県内の電話回線や携帯電話は一時つながりにくい状態になった。

れて40戸が断水したものの、間もなく復旧した。

宮古市は地震発生と同時に災害対策本部を設置、被害の情報収集を急いだ。市によると、道路は、長沢の市道北川目線と南川目線、老木の市道老木牛伏線で落石があり、通行止め。国道106号では花原市—茂市間、国道340号の和井

釜石、山田で

性が自宅で階段を踏みはずして転倒、左足をねんざしたほか、35歳の母親が地震のショックで体調を崩し、2カ月の男児とともに、合わせて3人が病院に運ばれた。一部町道で落石があったが、通行止めはなかった。

町などで震度3を観測した。

ニュースは東海新聞

気象庁によると、震源地は岩手県沿岸北部、震源の深さは約120キロ、地震の規模（マグニチュード＝M）は5・0と推定される。地震による津波はなかった。

各地の震度は次の通り。

震度3＝山田町大沢、釜石市中妻町、岩手洋野町大野ほか▽震度2＝宮古市鍬ケ崎、同市長沢、同市五月町、同市田老、同市茂市、山田町八幡町、釜石市只越町、大槌町新町ほか

防災講演会中止

24日正午から大槌町の城山公園体育館で開催予定だった三陸沖地震・津波防災講演会は、地震の影響で中止した。

あすの催し

＝25日＝

週間天気予報（沿岸部）

▷海上＝あすは波が1㍍。
▷降水確率＝25日午前0時〜6時は北部20%、南部50%、同6時〜正午は北部10%、南部30%。

25	(金)	曇 一時 雨
26	(土)	曇
27	(日)	曇 時々 晴
28	(月)	曇
29	(火)	曇
30	(水)	曇 時々 晴
31	(木)	曇

気温

盛岡地方気象台
釜石アメダス調べ
1〜15時
【23日】
最高　26.5度
最低　22.1度
【24日】午前6時現在
22.4度

釜石湾の水温

県水産技術センター調べ
【24日】午前8時現在
17.26度
（昨年　16.22度）

あすの暦

海上保安庁刊行の水路図誌による
7月25日
（旧 6月23日）
（釜石港）

日出	4.26
日入	18.52
月出	22.08
月入	11.26
月齢	21.5
満潮	7.48
〃	19.40
干潮	1.51
〃	13.16

CUT CLUB DUDA ドゥーダ

世界初の技術　光触媒による、強力分解消臭、除菌抗菌。天井埋込型・循環方式　家庭用空気清浄器　ささかぜ　発売中　【さまざまな場所で活躍】

2年間　本物を　味わ

良いめがねを安く作りたいと思ったら　—ぜひ一度ご来店下さい—

土曜日の診療時間が変わります。【土曜日】